

再評価結果（原案）

○一般国道 3 2 9 号 南風原バイパス

沖縄総合事務局開発建設部

事業評価結果（平成25年度事業継続箇所）（案）

担当課：

担当課長名：

事業名	一般国道329号 南風原バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	内閣府 沖縄総合事務局
起終点	自：沖縄県島尻郡南風原町字与那覇 至：沖縄県那覇市上間				延長	2.8km
事業概要 国道329号は、沖縄本島の太平洋側と東シナ海側を結ぶ大動脈であり本島の南部地域と那覇市を結ぶ主要幹線道路である。 南風原バイパスは、通過交通と域内交通が輻輳し、特に朝夕の交通混雑が著しい南風原町～那覇市上間間の交通混雑緩和と那覇空港自動車道と一体となって広域ネットワークを形成することにより、地域の活性化に寄与する道路事業である。						
H7年度事業化		H12年度都市計画決定		H14年度用地着手		H15年度工事着手
全体事業費		450億円		事業進捗率	約27%	供用済延長
計画交通量		38,700台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年
	(事業全体) 1.3	(残事業)/(事業全体)		(残事業)/(事業全体)		平成24年
	(残事業) 1.9	272/402億円		524/524億円		
		事業費：254/384億円 維持管理費：18/18億円		走行時間短縮便益：502/502億円 走行経費減少便益：22/22億円 交通事故減少便益：0.00/0.00億円		
感度分析の結果 (事業全体) 交通量変動 B/C=1.2～1.4 (交通量 ±10%) (残事業) B/C=1.8～2.0 (交通量 ±10%) 事業費変動 B/C=1.2～1.4 (事業費 ±10%) B/C=1.8～2.1 (事業費 ±10%) 事業期間変動 B/C=1.3～1.3 (事業期間±20%) B/C=1.9～1.9 (事業期間±20%)						
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・並行路線である国道329号に集中する交通が分散し、並行区間の交通量が38%減少。 【20,533台/日→12,792台/日】（未整備→南風原バイパス供用時） ・渋滞損失時間が25%削減。【434.96万人時間/年→326.76万人時間/年】（未整備→南風原バイパス供用時） ・那覇空港から与那原町役場までの所要時間が17%短縮。 【40.2分→33.5分】（未整備→南風原バイパス供用時） ②個性ある地域の形成 ・沖縄県、与那原町、南風原町が協働して「中城港湾マリンタウンプロジェクト」を計画・実施しており南風原バイパスが供用することで利便性の向上が期待される。 ・沖縄県庁からマリンタウンまでの所要時間が27%短縮。 【36.8分→26.9分】（未整備→南風原バイパス供用時） ③安全で安心できる暮らしの確保 ・与那原町役場から第3次医療施設である南部医療センターまでの所要時間が23%短縮。 【11.4分→8.8分】（未整備→南風原バイパス供用時） ・西原町周辺から第3次医療施設である南部医療センターまでの所要時間が17%短縮。 【17.8分→14.7分】（未整備→南風原バイパス供用時） ・南風原バイパスの整備によって交通の分散が図られ、国道329号の交通量減少が見込まれることで、歩行者の安全性向上効果が期待される。 ④地球環境の保全 ・CO2排出量が約3,535.37t-CO2/年削減（約0.19%削減） 【185.63万t-CO2/年→185.28万t-CO2/年】（未整備→南風原バイパス供用時） ⑤生活環境の改善・保全 ・NOx排出量が約16.51t/年削減（約15.2%削減）【108.50t/年→91.99t/年】（未整備→南風原バイパス供用時） ・SPM排出量が約0.95t/年削減（約15.6%削減）【6.07t/年→5.13t/年】（未整備→南風原バイパス供用時）						

関係する地方公共団体等の意見

当該事業は、ハシゴ道路ネットワークを形成する主要な幹線道路であり、中城湾港マリンタウンプロジェクトを支援するとともに、高度医療施設や大型商業施設等へのアクセスの向上及び経済・産業に資する物流の効率化等を担う重要な事業であると認識している。

このため、同事業の対応方針(原案)事業継続に同意するものである。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

南風原バイパスの整備を前提に、中城湾港マリンタウンプロジェクトの進捗、大型商業施設の立地、南部医療センター、バスターミナル等の立地が進んでいるが、南風原バイパス周辺での渋滞が生じている。そのため、バイパス整備への期待が大きい。

事業の進捗状況、残事業の内容等

・事業進捗率は約27%、用地取得率は約89%(平成24年度末見込み)。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

コスト縮減により見直した構造の調査設計を行い、用地買収及び工事を進め、早期供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

北丘高架橋で道路構造を上下線分離型から上下線一体型に変更することで、約2.3億円のコスト縮減を図る。

対応方針(原案)

事業継続

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は当初から変わらず、事業を継続する必要があるため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道329号 南風原バイパス
事業主体	沖縄総合事務局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指標	指標チェックの指標
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている 全 体：費用便益比 (B/C) = 1.3 (経済的純現在価値 (B-C) = 122億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 5.4%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 1.9 (経済的純現在価値 (B-C) = 252億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 9.2%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 内 需 の 創 出 と モ ビ リ テ ィ の 確 保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	当該区間及び並行区間について：国道329号、国道507号、(主)那覇北中城線、(県)南風原与那原線、(県)宜野湾南風原線、沖縄自動車道、(主)那覇糸満線、県道155号線、清瀬西原線、県道28号線、南部東道路 ・当該区間の渋滞損失時間：整備なし434.96万人・時間/年、整備あり326.76万人・時間/年 ・当該区間の渋滞損失削減率：約24.9%削減
	■ 現道等における遅延時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	国道329号 (H22センサス区間番号：473032904420～473032904440) の旅行速度 (与那原バイパス・南風原バイパス供用時) ・現況 (国道329号)： 17.7km/h (H22センサスより) ・将来 (国道329号)： 19.4km/h (H42将来交通量推計より) 【1.7km/h改善】
	□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上 の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	国道329号を利用する既存バスルートの定時性の確保が期待される。 ⇒東陽バス、沖縄バスが運行 計454便/日 (平日) 【国道329号 (兼城十字路バス停) 系統数：11系統】
	□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	那覇空港から与那原町役場までの旅行時間 ・現況 (国道329号)： 40.2分 ・将来 (完成供用)： 33.5分 【7分短縮】
	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	那覇新港からコープ沖縄物センターまでの旅行時間 ・現況 (国道329号)： 45.8分 ・将来 (完成供用)： 43.7分 【2分短縮】 ※与那原バイパス・南風原バイパス供用時：36.0分 【10分短縮】
	□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくは150規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
	■ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	沖縄県の広域道路マスタープランにおいて、那覇都市圏における2環状7放射道路として位置付けられている。
	□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
	□ 中心市街地内で行う事業である	
	□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である	
	□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
	□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発 (300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上) への連絡道路となる	

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	那覇市（県庁）からマリンタウンまでの旅行時間 ・現況（国道329号）： 36.8分 ・将来（完成供用）： 26.9分【10分短縮】 ※与那原バイパス・南風原バイパス供用時：20.8分【16分短縮】
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	・沖縄県、西原町、与那原町が協働して推進している「中城港湾マリンタウンプロジェクト」を支援する。
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	那覇空港からマリンパークまでの旅行時間 ・現況（国道329号）： 45.1分 ・将来（完成供用）： 38.4分【7分短縮】 ※与那原バイパス・南風原バイパス供用時：30.7分【14分短縮】
		■ 特別立法に基づく事業である	沖縄振興特別措置法
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
		<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
		■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	西原町役場から南部医療センターまでの旅行時間 ・現況（国道329号）： 17.8分 ・将来（完成供用）： 14.7分【3分短縮】 ※与那原バイパス・南風原バイパス供用時：8.4分【9分短縮】 与那原町役場から南部医療センターまでの旅行時間 ・現況（国道329号）： 11.4分 ・将来（完成供用）： 8.8分【3分短縮】
	安全で安心できるくらしの確保		

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に死傷事故が500件/億台キロ以上である区間が有する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	並行する国道329号（上間交差点 H21年度交通事故総合データベース）は死傷事故率575件/億台キロ
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通字路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通字路である場合は半量、児童が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	国道329号は第2次緊急輸送道路に位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	並行する国道329号は第2次緊急輸送道路に位置づけられており、南風原バイパスは迂回路としての機能を期待される。
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：約3,535,37t-CO2/年 （整備なし185,63万t-CO2/年ー整備あり185,28万t-CO2/年）
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 対象区間（現道/並行区間等）：国道329号、国道507号、（主）那覇北中城線、（県）南風原与那原線、（県）宜野湾南風原線、沖縄自動車道、（主）那覇糸満線、県道155号線、浦添西原線、県道28号線、南部東道路 排出削減量：16,51t/年 排出削減率：約15.2%削減 （整備なし108,50t/年ー整備あり91,99t/年）
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 対象区間（現道/並行区間等）：国道329号、国道507号、（主）那覇北中城線、（県）南風原与那原線、（県）宜野湾南風原線、沖縄自動車道、（主）那覇糸満線、県道155号線、浦添西原線、県道28号線、南部東道路 排出削減量：0,95t/年 排出削減率：約15.6%削減 （整備なし6,07t/年ー整備あり5,13t/年）
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のアライメントとの関係	<input checked="" type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	南風原町基本計画の中で「計画幹線軸」として位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	南風原バイパスの東端は現道の国道329号に合流しないため、与那原バイパスとの一体的な整備が求められている。
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(再評価)

様式－２

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道329号	南風原バイパス	2.8km	二次改築	ＢＰ

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
38,700	4	沖縄総合事務局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	434億円	51億円	485億円
うち残事業分	313億円	51億円	363億円
基準年における 現在価値 (C)	384億円	18億円	402億円
うち残事業分	254億円	18億円	272億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
供用年	平成28年度			
単年便益 (初年便益)	6.1億円	1.3億円	0.35億円	7.8億円
基準年における 現在価値 (B)	502億円	22億円	0.00億円	524億円
うち残事業分	502億円	22億円	0.00億円	524億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.3
経済的純現在価値（事業全体）	122億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.4%
費用便益比（残事業）	1.9
経済的純現在価値（残事業）	252億円
経済的内部収益率（残事業）	9.2%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析（事業全体を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	38,700台/日	±10%	1.2～1.4
事業費	434億円	±10%	1.2～1.4
事業期間	27年	±20%	1.3～1.3

④ 感 度 分 析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	38,700台/日	±10%	1.8～2.0
事業費	313億円	±10%	1.8～2.1
事業期間	9年	±20%	1.9～1.9

交通状況の変化

様式－3①

事業名：南風原バイパス（事業全体・残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 [南風原バイパス： 2.8km]		交通量	[台/日]	38,700	
		走行時間	[分]	4.3	
		走行時間費用	[億円/年]	29	
②主な周 辺道路	現道(国 道329号) ：3.0km	交通量	[台/日]	20,500	12,800
		走行時間	[分]	6	5.4
		走行時間費用	[億円/年]	22	13
	国道507 号 ：4.1km	交通量	[台/日]	28,300	23,900
		走行時間	[分]	7.8	7.3
		走行時間費用	[億円/年]	38	29
	(主)那覇 糸満線 ：4.4km	交通量	[台/日]	36,600	33,200
		走行時間	[分]	9.8	9.3
		走行時間費用	[億円/年]	69	59
	(主)那覇 北中城線 ：4.1km	交通量	[台/日]	26,300	25,000
		走行時間	[分]	7.4	7.1
		走行時間費用	[億円/年]	34	31
	(県)南風 原与那原 線 ：2.6km	交通量	[台/日]	6,300	3,300
		走行時間	[分]	5.6	4.7
		走行時間費用	[億円/年]	6.0	2.7
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 延長：1,362.7km		走行時間費用	[億円/年]	7,547	7,520

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,383.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	7,716	7,684	31.6

(2) 図面 (①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：南風原バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成24年度	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input type="checkbox"/>
		複数時点での推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
		無	<input checked="" type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	有	<input type="checkbox"/>
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載
		配分交通量の推計手法	<div> <div>Q-V式を用いた配分</div> <div><input type="checkbox"/></div> </div> <div> <div>転換率式を用いた配分</div> <div><input type="checkbox"/></div> </div> <div> <div>Q-V式と転換率式の併用による配分</div> <div><input checked="" type="checkbox"/></div> </div> <div> <div>均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)</div> <div><input type="checkbox"/></div> </div> <div> <div>簡易手法</div> <div><input type="checkbox"/></div> </div> <div> <div>簡易手法の採択理由</div> <div> <div>小規模事業である</div> <div><input type="checkbox"/></div> </div> <div> <div>山間部海岸部で併行道路が少ない</div> <div><input type="checkbox"/></div> </div> <div> <div>その他()</div> <div></div> </div> </div> <div> <div>簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)</div> <div></div> </div> <div> <div>その他()</div> <div><input type="checkbox"/></div> </div>
	速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>
		採用理由を記載	
		交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量程度の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
		最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
		採用理由を記載	
	その他()	<input type="checkbox"/>	

(4)

[illegible]

様式－4

費用の現在価値算定表

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)

箇所名: 南風原バイパス(事業全体)

基準年 H 24

年次	年度	割合率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価(億円)	現在価値	単価(億円)	現在価値
				0.40		2.8	1.1
-21年目	H 7	1.9479	109.9	0.48	0.79		
-20年目	H 8	1.8730	109.5	0.49	0.78		
-19年目	H 9	1.8009	110.4	0.17	0.26		
-18年目	H 10	1.7317	109.9	0.10	0.14		
-17年目	H 11	1.6651	108.4	0.47	0.68		
-16年目	H 12	1.6010	107.2	0.20	0.28		
-15年目	H 13	1.5395	105.7	1.3	1.8		
-14年目	H 14	1.4802	103.8	10	13		
-13年目	H 15	1.4233	102.3	2.1	2.7		
-12年目	H 16	1.3686	101.0	1.7	2.2		
-11年目	H 17	1.3159	99.6	7.9	9.7		
-10年目	H 18	1.2653	98.7	6.1	7.3		
-9年目	H 19	1.2167	97.6	9.2	11		
-8年目	H 20	1.1699	96.8	12	14		
-7年目	H 21	1.1249	95.6	12	14		
-6年目	H 22	1.0816	93.8	16	17		
-5年目	H 23	1.0400	93.8	20	21		
-4年目	H 24	1.0000	93.8	21	21		
-3年目	H 25	0.9615	93.8	33	31		
-2年目	H 26	0.9246	93.8	32	30		
-1年目	H 27	0.8890	93.8	30	27		
供用開始年次	H 28	0.8548	93.8	25	22	0.57	0.49
1年目	H 29	0.8219	93.8	27	22	0.57	0.47
2年目	H 30	0.7903	93.8	28	22	0.57	0.45
3年目	H 31	0.7599	93.8	48	36	0.69	0.52
4年目	H 32	0.7307	93.8	46	33	0.69	0.50
5年目	H 33	0.7026	93.8	44	31	0.69	0.48
6年目	H 34	0.6756	93.8			1.1	0.72
7年目	H 35	0.6496	93.8			1.1	0.70
8年目	H 36	0.6246	93.8			1.1	0.67
9年目	H 37	0.6006	93.8			1.1	0.64
10年目	H 38	0.5775	93.8			1.1	0.62
11年目	H 39	0.5553	93.8			1.1	0.59
12年目	H 40	0.5339	93.8			1.1	0.57
13年目	H 41	0.5134	93.8			1.1	0.55
14年目	H 42	0.4936	93.8			1.1	0.53
15年目	H 43	0.4746	93.8			1.1	0.51
16年目	H 44	0.4564	93.8			1.1	0.49
17年目	H 45	0.4388	93.8			1.1	0.47
18年目	H 46	0.4220	93.8			1.1	0.45
19年目	H 47	0.4057	93.8			1.1	0.43
20年目	H 48	0.3901	93.8			1.1	0.42
21年目	H 49	0.3751	93.8			1.1	0.40
22年目	H 50	0.3607	93.8			1.1	0.39
23年目	H 51	0.3468	93.8			1.1	0.37
24年目	H 52	0.3335	93.8			1.1	0.36
25年目	H 53	0.3207	93.8			1.1	0.34
26年目	H 54	0.3083	93.8			1.1	0.33
27年目	H 55	0.2965	93.8			1.1	0.32
28年目	H 56	0.2851	93.8			1.1	0.31
29年目	H 57	0.2741	93.8			1.1	0.29
30年目	H 58	0.2636	93.8			1.1	0.28
31年目	H 59	0.2534	93.8			1.1	0.27
32年目	H 60	0.2437	93.8			1.1	0.26
33年目	H 61	0.2343	93.8			1.1	0.25
34年目	H 62	0.2253	93.8			1.1	0.24
35年目	H 63	0.2166	93.8			1.1	0.23
36年目	H 64	0.2083	93.8			1.1	0.22
37年目	H 65	0.2003	93.8			1.1	0.21
38年目	H 66	0.1926	93.8			1.1	0.21
39年目	H 67	0.1852	93.8			1.1	0.20
40年目	H 68	0.1780	93.8			1.1	0.19
41年目	H 69	0.1712	93.8			1.1	0.18
42年目	H 70	0.1646	93.8			1.1	0.18
43年目	H 71	0.1583	93.8			1.1	0.17
44年目	H 72	0.1522	93.8			1.1	0.16
45年目	H 73	0.1463	93.8			1.1	0.16
46年目	H 74	0.1407	93.8			1.1	0.15
47年目	H 75	0.1353	93.8			1.1	0.14
48年目	H 76	0.1301	93.8			1.1	0.14
49年目	H 77	0.1251	93.8	-62	-7.8	1.1	0.13
合 計				372	384	51	18
単純事業費計				434		51	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

様式－４

費用の現在価値算定表

箇所名：南風原バイパス(残事業)
基準年 H 24

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.40	2.8	1.1

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-3年目	H 25	0.9615	93.8	33	31		
-2年目	H 26	0.9246	93.8	32	30		
-1年目	H 27	0.8890	93.8	30	27		
供用開始年次	H 28	0.8548	93.8	25	22	0.57	0.49
1年目	H 29	0.8219	93.8	27	22	0.57	0.47
2年目	H 30	0.7903	93.8	28	22	0.57	0.45
3年目	H 31	0.7599	93.8	48	36	0.69	0.52
4年目	H 32	0.7307	93.8	46	33	0.69	0.50
5年目	H 33	0.7026	93.8	44	31	0.69	0.48
6年目	H 34	0.6756	93.8			1.1	0.72
7年目	H 35	0.6496	93.8			1.1	0.70
8年目	H 36	0.6246	93.8			1.1	0.67
9年目	H 37	0.6006	93.8			1.1	0.64
10年目	H 38	0.5775	93.8			1.1	0.62
11年目	H 39	0.5553	93.8			1.1	0.59
12年目	H 40	0.5339	93.8			1.1	0.57
13年目	H 41	0.5134	93.8			1.1	0.55
14年目	H 42	0.4936	93.8			1.1	0.53
15年目	H 43	0.4746	93.8			1.1	0.51
16年目	H 44	0.4564	93.8			1.1	0.49
17年目	H 45	0.4388	93.8			1.1	0.47
18年目	H 46	0.4220	93.8			1.1	0.45
19年目	H 47	0.4057	93.8			1.1	0.43
20年目	H 48	0.3901	93.8			1.1	0.42
21年目	H 49	0.3751	93.8			1.1	0.40
22年目	H 50	0.3607	93.8			1.1	0.39
23年目	H 51	0.3468	93.8			1.1	0.37
24年目	H 52	0.3335	93.8			1.1	0.36
25年目	H 53	0.3207	93.8			1.1	0.34
26年目	H 54	0.3083	93.8			1.1	0.33
27年目	H 55	0.2965	93.8			1.1	0.32
28年目	H 56	0.2851	93.8			1.1	0.31
29年目	H 57	0.2741	93.8			1.1	0.29
30年目	H 58	0.2636	93.8			1.1	0.28
31年目	H 59	0.2534	93.8			1.1	0.27
32年目	H 60	0.2437	93.8			1.1	0.26
33年目	H 61	0.2343	93.8			1.1	0.25
34年目	H 62	0.2253	93.8			1.1	0.24
35年目	H 63	0.2166	93.8			1.1	0.23
36年目	H 64	0.2083	93.8			1.1	0.22
37年目	H 65	0.2003	93.8			1.1	0.21
38年目	H 66	0.1926	93.8			1.1	0.21
39年目	H 67	0.1852	93.8			1.1	0.20
40年目	H 68	0.1780	93.8			1.1	0.19
41年目	H 69	0.1712	93.8			1.1	0.18
42年目	H 70	0.1646	93.8			1.1	0.18
43年目	H 71	0.1583	93.8			1.1	0.17
44年目	H 72	0.1522	93.8			1.1	0.16
45年目	H 73	0.1463	93.8			1.1	0.16
46年目	H 74	0.1407	93.8			1.1	0.15
47年目	H 75	0.1353	93.8			1.1	0.14
48年目	H 76	0.1301	93.8			1.1	0.14
49年目	H 77	0.1251	93.8	-6.8	-0.84	1.1	0.13
合 計				306	254	51	18

単純事業費計		313	51
--------	--	-----	----

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

便益の現在価値算定表

箇所名：南風原バイパス（事業全体・残事業）

年次	年度 (基準年) H 24	総走行台の年次別伸び率 (沖縄ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター H24 93.8	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)			合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	費用合計 (①～③)	現在価値 割引率4%	
供用開始年次	H 28	1.00367	1.00488	1.02118	1.00495	0.8548	93.8	4.8	1.0	0.33	6.1	5.2	0.92	0.24	0.15	1.3	1.1	0.35	0.30	7.8	6.6	
1年目	H 29	1.00366	1.00486	1.02074	1.00492	0.8219	93.8	4.8	1.0	0.34	6.1	5.1	0.92	0.24	0.16	1.3	1.1	0.35	0.29	7.8	6.4	
2年目	H 30	1.00365	1.00484	1.02032	1.00490	0.7903	93.8	4.8	1.0	0.35	6.2	4.9	0.92	0.24	0.16	1.3	1.0	0.35	0.28	7.8	6.2	
3年目	H 31	1.00363	1.00481	1.01992	1.00487	0.7599	93.8	21	3.2	2.7	27	20	0.66	0.03	0.11	0.80	0.61	-0.40	-0.30	27	21	
4年目	H 32	1.00522	1.00538	1.03022	1.00687	0.7307	93.8	21	3.3	2.7	27	20	0.66	0.03	0.12	0.81	0.59	-0.40	-0.29	27	20	
5年目	H 33	1.00520	1.00535	1.02934	1.00682	0.7026	93.8	21	3.3	2.8	27	19	0.66	0.03	0.12	0.81	0.57	-0.40	-0.28	28	19	
6年目	H 34	1.00517	1.00532	1.02850	1.00677	0.6756	93.8	24	4.2	2.3	30	20	0.97	0.09	0.18	1.2	0.84	0.00	0.00	31	21	
7年目	H 35	1.00514	1.00529	1.02771	1.00673	0.6496	93.8	24	4.2	2.4	30	20	0.97	0.09	0.18	1.2	0.81	0.00	0.00	31	20	
8年目	H 36	1.00512	1.00526	1.02696	1.00668	0.6246	93.8	24	4.2	2.4	30	19	0.97	0.09	0.19	1.3	0.78	0.00	0.00	32	20	
9年目	H 37	1.00509	1.00523	1.02626	1.00664	0.6006	93.8	24	4.2	2.5	31	18	0.97	0.09	0.19	1.3	0.75	0.00	0.00	32	19	
10年目	H 38	1.00507	1.00521	1.02558	1.00660	0.5775	93.8	24	4.2	2.5	31	18	0.97	0.09	0.20	1.3	0.73	0.00	0.00	32	19	
11年目	H 39	1.00504	1.00518	1.02495	1.00655	0.5553	93.8	24	4.3	2.6	31	17	0.97	0.09	0.20	1.3	0.70	0.00	0.00	32	18	
12年目	H 40	1.00501	1.00515	1.02434	1.00651	0.5339	93.8	24	4.3	2.7	31	17	0.97	0.09	0.20	1.3	0.67	0.00	0.00	33	17	
13年目	H 41	1.00499	1.00513	1.02376	1.00647	0.5134	93.8	24	4.3	2.7	31	16	0.97	0.09	0.20	1.3	0.65	0.00	0.00	33	17	
14年目	H 42	0.99305	0.99503	1.00057	0.99398	0.4936	93.8	25	4.3	2.8	32	16	0.97	0.09	0.21	1.3	0.62	0.00	0.00	33	16	
15年目	H 43	0.99300	0.99500	1.00057	0.99394	0.4746	93.8	24	4.3	2.8	31	15	0.96	0.09	0.21	1.3	0.60	0.00	0.00	33	16	
16年目	H 44	0.99295	0.99498	1.00057	0.99391	0.4564	93.8	24	4.3	2.8	31	14	0.95	0.09	0.21	1.3	0.57	0.00	0.00	33	15	
17年目	H 45	0.99290	0.99495	1.00057	0.99387	0.4388	93.8	24	4.3	2.8	31	14	0.94	0.09	0.21	1.2	0.54	0.00	0.00	32	14	
18年目	H 46	0.99285	0.99493	1.00057	0.99383	0.4220	93.8	24	4.2	2.8	31	13	0.93	0.09	0.21	1.2	0.52	0.00	0.00	32	14	
19年目	H 47	0.99280	0.99490	1.00057	0.99379	0.4057	93.8	24	4.2	2.8	31	12	0.92	0.09	0.21	1.2	0.49	0.00	0.00	32	13	
20年目	H 48	0.99275	0.99487	1.00057	0.99375	0.3901	93.8	24	4.2	2.8	31	12	0.91	0.09	0.21	1.2	0.47	0.00	0.00	32	12	
21年目	H 49	0.99269	0.99485	1.00057	0.99371	0.3751	93.8	23	4.2	2.8	30	11	0.90	0.09	0.21	1.2	0.45	0.00	0.00	32	12	
22年目	H 50	0.99264	0.99482	1.00057	0.99367	0.3607	93.8	23	4.2	2.8	30	11	0.89	0.09	0.21	1.2	0.43	0.00	0.00	31	11	
23年目	H 51	0.99259	0.99479	1.00057	0.99363	0.3468	93.8	23	4.1	2.8	30	10	0.88	0.09	0.21	1.2	0.41	0.00	0.00	31	11	
24年目	H 52	0.99253	0.99477	1.00057	0.99359	0.3335	93.8	23	4.1	2.8	30	9.9	0.87	0.09	0.21	1.2	0.39	0.00	0.00	31	10	
25年目	H 53	0.99247	0.99474	1.00057	0.99355	0.3207	93.8	23	4.1	2.8	30	9.5	0.86	0.09	0.21	1.2	0.37	0.00	0.00	31	9.9	
26年目	H 54	0.99242	0.99471	1.00056	0.99351	0.3083	93.8	23	4.1	2.8	29	9.1	0.85	0.09	0.21	1.2	0.35	0.00	0.00	31	9.4	
27年目	H 55	0.99236	0.99468	1.00056	0.99347	0.2965	93.8	22	4.1	2.8	29	8.7	0.84	0.09	0.21	1.1	0.34	0.00	0.00	30	9.0	
28年目	H 56	0.99230	0.99465	1.00056	0.99343	0.2851	93.8	22	4.0	2.8	29	8.3	0.83	0.09	0.21	1.1	0.32	0.00	0.00	30	8.6	
29年目	H 57	0.99224	0.99463	1.00056	0.99338	0.2741	93.8	22	4.0	2.8	29	7.9	0.82	0.09	0.21	1.1	0.31	0.00	0.00	30	8.2	
30年目	H 58	0.99218	0.99460	1.00056	0.99334	0.2636	93.8	22	4.0	2.8	29	7.5	0.81	0.09	0.21	1.1	0.29	0.00	0.00	30	7.8	
31年目	H 59	0.99212	0.99457	1.00056	0.99329	0.2534	93.8	22	4.0	2.8	28	7.2	0.80	0.09	0.21	1.1	0.28	0.00	0.00	30	7.5	
32年目	H 60	0.99206	0.99454	1.00056	0.99325	0.2437	93.8	21	4.0	2.8	28	6.9	0.79	0.09	0.21	1.1	0.27	0.00	0.00	29	7.2	
33年目	H 61	0.99199	0.99451	1.00056	0.99320	0.2343	93.8	21	3.9	2.8	28	6.6	0.78	0.09	0.21	1.1	0.25	0.00	0.00	29	6.8	
34年目	H 62	0.99227	0.99464	1.00056	0.99340	0.2253	93.8	21	3.9	2.8	28	6.3	0.77	0.09	0.21	1.1	0.24	0.00	0.00	29	6.5	
35年目	H 63	0.99224	0.99463	1.00056	0.99338	0.2166	93.8	21	3.9	2.8	28	6.0	0.76	0.09	0.21	1.1	0.23	0.00	0.00	29	6.2	
36年目	H 64	0.99222	0.99462	1.00056	0.99337	0.2083	93.8	21	3.9	2.8	27	5.7	0.75	0.09	0.21	1.1	0.22	0.00	0.00	29	5.9	
37年目	H 65	0.99220	0.99461	1.00056	0.99335	0.2003	93.8	21	3.9	2.8	27	5.5	0.74	0.09	0.21	1.0	0.21	0.00	0.00	28	5.7	
38年目	H 66	0.99218	0.99460	1.00056	0.99334	0.1926	93.8	21	3.8	2.8	27	5.2	0.73	0.09	0.21	1.0	0.20	0.00	0.00	28	5.4	
39年目	H 67	0.99217	0.99459	1.00056	0.99333	0.1852	93.8	20	3.8	2.8	27	5.0	0.72	0.09	0.21	1.0	0.19	0.00	0.00	28	5.2	
40年目	H 68	0.99216	0.99459	1.00056	0.99332	0.1780	93.8	20	3.8	2.8	27	4.8	0.71	0.09	0.21	1.0	0.18	0.00	0.00	28	4.9	
41年目	H 69	0.99216	0.99459	1.00056	0.99332	0.1712	93.8	20	3.8	2.8	27	4.6	0.70	0.09	0.21	1.0	0.17	0.00	0.00	28	4.7	
42年目	H 70	0.99216	0.99459	1.00056	0.99333	0.1646	93.8	20	3.8	2.8	26	4.4	0.69	0.09	0.21	0.99	0.16	0.00	0.00	27	4.5	
43年目	H 71	0.99218	0.99460	1.00056	0.99333	0.1583	93.8	20	3.7	2.8	26	4.2	0.68	0.09	0.21	0.98	0.16	0.00	0.00	27	4.3	
44年目	H 72	0.99219	0.99460	1.00056	0.99335	0.1522	93.8	20	3.7	2.8	26	4.0	0.67	0.09	0.21	0.97	0.15	0.00	0.00	27	4.1	
45年目	H 73	0.99219	0.99460	1.00056	0.99334	0.1463	93.8	19	3.7	2.8	26	3.8	0.66	0.09	0.21	0.96	0.14	0.00	0.00	27	3.9	
46年目	H 74	0.99218	0.99460	1.00056	0.99334	0.1407	93.8	19	3.7	2.8	26	3.6	0.65	0.09	0.21	0.95	0.13	0.00	0.00	27	3.8	
47年目	H 75	0.99218	0.99460	1.00056	0.99334	0.1353	93.8	19	3.7	2.8	26	3.5	0.64	0.09	0.21	0.94	0.13	0.00	0.00	26	3.6	
48年目	H 76	0.99218	0.99460	1.00056	0.99333	0.1301	93.8	19	3.6	2.8	25	3.3	0.63	0.09	0.21	0.93	0.12	0.00	0.00	26	3.4	
49年目	H 77	0.99217	0.99460	1.00056	0.99333	0.1251	93.8	19	3.6	2.8	25	3.2	0.63	0.09	0.21	0.93	0.12	0.00	0.00	26	3.3	
合計								1,048	190	129	1,366	502	41	4.8	9.9	56	22	-0.14	0.0	1,422	524	

参考様式1

路線名	箇所名	車線数	延長
南風原バイパス	南風原町字与那覇～那覇市上間	4	2.8

■事業費内訳(全体事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					21,504	
	改良費				4,954	
		土工	m ²	536,999	3,585	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	式	1	4	
		法面工	m ²	24,118	6	切土法面、盛土法面、吹付け等
		擁壁工	式	1	220	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	式	1	3	
		函渠工	式	0	0	
		排水工	式	1	146	
		仮設工	式	1	104	工事用道路、仮設工
		雑工	式	1	886	
	橋梁費				14,731	
		100m以上	式	1	12,179	大名高架橋、識名高架橋、跨道橋
		100m未満	式	1	2,552	ランプ橋、側道橋
	トンネル費				0	
		NATM	式	0	0	
		シールド	m	0	0	
	IC・JCT費				0	
		IC	箇所	0	0	
		JCT	箇所	0	0	
	舗装費				923	
		車道舗装	m ²	76,292	761	
		歩道舗装	m ²	24,762	162	
	付帯施設費				896	
		交通管理施設工	式	1	896	標識工、防護柵工、道路照明等
②用地及補償費					10,252	
	用地費				6,222	
		宅地	m ²	92,956	6,222	
		田畑	m ²	0	0	
		山林・原野	m ²	0	0	
		その他	m ²	0	0	墓、道路
	補償費		式	1	4,030	
③間接経費			式	1	13,244	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					45,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

参考様式1

路線名	箇所名	車線数	延長
南風原バイパス	南風原町字与那覇～那覇市上間	4	2.8

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					20,700	
	改良費				4,352	
		土工	m ³	421,437	3,326	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	式	0	0	
		法面工	m ²	15,702	2	切土法面、盛土法面、吹付け等
		擁壁工	式	1	216	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	式	0	0	
		函渠工	式	0	0	
		排水工	式	1	40	
		仮設工	式	1	33	工事用道路、仮設工
		雑工	式	1	735	
	橋梁費				14,731	
		100m以上	式	1	12,179	大名高架橋、識名高架橋、跨道橋
		100m未満	式	1	2,552	ランプ橋、側道橋
	トンネル費				0	
		NATM	式	0	0	
		シールド	m	0	0	
	IC・JCT費				0	
		IC	箇所	0	0	
		JCT	箇所	0	0	
	舗装費				764	
		車道舗装	m ²	63,884	636	
		歩道舗装	m ²	19,158	128	
	付帯施設費				853	
		交通管理施設工	式	1	853	標識工、防護柵工、道路照明等
②用地及補償費					1,145	
	用地費				675	
		宅地	m ²	10,540	675	
		田畑	m ²	0	0	
		山林・原野	m ²	0	0	
		その他	m ²	0	0	墓、道路
	補償費	式		1	470	
③間接経費			式	1	12,950	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					34,795	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
南風原バイパス	南風原町与那覇～那覇市真地	2	2.0km

■維持管理費内訳（全体事業・残事業）

区分	単位	数量	金額(百万円/年)	備考
維持費	km	2.0	13	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	47	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			60	

路線名	箇所名	車線数	延長
南風原バイパス	南風原町与那覇～那覇市真地	4	2.0km

■維持管理費内訳（全体事業・残事業）

区分	単位	数量	金額(百万円/年)	備考
維持費	km	2.0	13	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	59	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			72	

路線名	箇所名	車線数	延長
南風原バイパス	南風原町与那覇～那覇市上間	4	2.8km

■維持管理費内訳（全体事業・残事業）

区分	単位	数量	金額(百万円/年)	備考
維持費	km	2.8	18	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	94	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			112	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。